

の教授などの外部有識者による
広野町放射線健康対策委員会
は、引き続き委員会活動を継続し、町民の放射性物質による健康影響などについて、専門的知見からの適切な指導、助言をいただきながら放射線対策に取り組みます。放射線相談事業につきましては、町民が放射線に対する不安や疑問について、気軽に「ご相談いただける機関として**広野町放射線相談室**を設置しており、さらに内容の充実を努め、町民の放射線に関する不安払拭に向けた取り組みを強化していきます。

2 人を活かす事業

被災地域テレワーク推進事業
の導入につきましては、町民の帰町に向けた環境整備の一環として、情報技術を活用し、在宅で仕事ができるテレワーク事業を導入し、柔軟な働き方ができる雇用環境を町民に提供すること、住民帰還の加速化を図ります。雇用創出への取り組みとしましては、駅東側開発地区や工業団地への新規企業の誘致を進めるとともに、広野火力発電所内の高効率石炭火力発電（IGCC）の建設によって、雇用の場のさらなる充実を図ります。



広野みらいオフィスが完成するなど広野駅東側開発整備事業が進む

復興関連事業の継続につきましては、復興計画に掲げる基本理念・目的を達成するため、シンボル事業として位置付けている**駅東側の開発**を進めるなど、諸施策を確実に実施いたします。また、復興関係事業をはじめとしたまちづくり施策の実施にあたっては、福島再生加速化交付金をはじめとした国・県補助金などの財源確保に努め、一般財源の負担を少なくする財政運営に努めます。**第二期災害公営住宅整備事業**につきましては、14戸の住宅建築工事に着手し、早期完成に向け事業の推進を図ります。**復興道路整備事業**につきましては、計画道路の用地取得を行いながら、駅東側開発との整合性を図り、早期完成



「ふるさと応援寄附金」返礼品の特別栽培米と無添加みそ

を目指し進めます。**広野駅自由通路整備事業**につきましても、JR東日本との工事協定に基づき、早期完成を目指し進めます。**農業**につきましては、営農再開4年目となります平成28年度産米の作付けについて、福島県より広野町の生産数量目標面積が176ヘクタールと示されました。平成28年度営農を行う農家に対しては、国の**経営所得安定対策**を活用していただき、農業経営の安定を図ります。あわせて、本町は、「ふるさと応援寄附金」に寄附していただいた納税者に**特別栽培米**（精米60キログラム）およびみそをお礼の品として贈る取り組みをとおり、生産農家への支援と広野町産農産物のPRをしていきます。

す。担い手農家への農地の集約を目指し、ほ場の環境整備を図るため、町内7地区の**ほ場整備事業**の事業採択に向け、関係機関と連携し、取り組みます。本町の森林につきましては、**ふくしま森林再生事業**を活用し、間伐などの森林整備と表土の流出を防止するなどの放射性物質対策を一体的に実施し、森林の有する多面的機能の維持と放射性物質の拡散防止のため、計画的に取り組みます。

「**防災拠点道の駅ひろの**」整備事業につきましては、東日本大震災および原子力災害から丸5年を経て、今なお、多くの町民が避難生活を続けている現状から、震災の経験と反省、本町が抱える課題を踏まえ、復興のシンボルと位置付け、ヘリポートと広域的な防災広場や町内外生活者の地域コミュニティ交流施設など、さまざまな機能を兼ね備えた新しい「**防災拠点道の駅ひろの**」整備事業を推進します。また、整備に向けた**検討委員会**に加え、経営・管理運営研究部会を含む4つの**専門部会**を組織し、整備手法や補助金の活用、事業の収支などについて提言をいただき、町民との合意形成を図りながら取り組みます。

3 未来をつくる事業

町民一人ひとりが夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会を、**広野駅を中心とした新たなまちづくり**を進める中で、各種事業に対し、産学官労言が連携し、**広野町の復興・再生**に向けて取り組んでいきます。

「**まち・ひと・しごと創生**」**広野町総合戦略**につきましては、**第五次広野町町勢振興計画**および**第二次広野町国土利用計画**を策定いたしました。これらの計画で示している基本理念、将来像と方向性が、総合戦略で目指すまちづくりと一致していることから、**広野町総合戦略**を町勢振興計画の、特に若い世代における移住・定住促進、新たな人の流れ、まちづくり、産業分野創出のための戦略的ビジョンとして位置付け、計画との整合性を図ります。総合戦略で示す「**まち・ひと・しごと創生**」を実現するため、より効果的・効率的に取り組みを進めるとともに、その効果を検証していきます。

教育全般につきましては、昨年7月に制定いたしました「**広野町教育ビジョン**」に基づき、幼稚園、そして義務教育9年間の一貫した目標である「**夢や希望を抱き、未来をたくましく生き抜く幅広い見識と想像力を育成する**」ことを目指し、その基盤となる「**確かな学力と自ら学ぶ意欲や態度**」、「**人への思いやりの心とふるさとへの愛着**」、「**生涯にわたり健康で安全に生活する力**」を育むさまざまな教育活動を通して、魅力ある**広野町の教育の実現**に取り組みます。自然災害を想定した避難訓練のほか、原子力発電所事故を想定した**防災教育や放射線を正しく理解**するための教育も推進いたします。原子力災害に伴う支援事業につきましては、避難を余儀なくされている児童生徒で、本年度も引き続き本町に住所を有し、経済的な理由により小中学校への就学が困難と認められる児童生徒に対し、新入学用品費・学用品費・修学旅行費・学校給食費などの定められた費用の全額を助成する**就学援助**を実施いたします。

3歳から5歳の幼稚園児に対しても、経済的な理由により避難先の公立・私立幼稚園に通園することが困難と認められる園児に対し、幼稚園保育料・入園料を補助する**就園奨励費補助事業**を実施いたします。平成24年2学期から本町で再開いたしました**広野小学校**、**中学校**に

望を抱き、未来をたくましく生き抜く幅広い見識と想像力を育成する」ことを目指し、その基盤となる「確かな学力と自ら学ぶ意欲や態度」、「人への思いやりの心とふるさとへの愛着」、「生涯にわたり健康で安全に生活する力」を育むさまざまな教育活動を通して、魅力ある広野町の教育の実現に取り組みます。自然災害を想定した避難訓練のほか、原子力発電所事故を想定した**防災教育や放射線を正しく理解**するための教育も推進いたします。原子力災害に伴う支援事業につきましては、避難を余儀なくされている児童生徒で、本年度も引き続き本町に住所を有し、経済的な理由により小中学校への就学が困難と認められる児童生徒に対し、新入学用品費・学用品費・修学旅行費・学校給食費などの定められた費用の全額を助成する**就学援助**を実施いたします。

3歳から5歳の幼稚園児に対しても、経済的な理由により避難先の公立・私立幼稚園に通園することが困難と認められる園児に対し、幼稚園保育料・入園料を補助する**就園奨励費補助事業**を実施いたします。平成24年2学期から本町で再開いたしました**広野小学校**、**中学校**に



ALTが幼稚園児から中学生まで指導

通学する児童生徒の通学支援として、引き続き町内外の**スクールバス**の運行を実施いたします。学校の再開に合わせて実施しております学校給食につきましても、使用食材の産地指定や**食品放射線検査機器**を使用し、**放射性物質の検査**を引き続き実施し、給食の安全安心の確保に努めます。**幼稚園**における**英語教育**の充実につきましては、英会話に親しみ、興味を深め、身近な言葉としての感覚を養うため、引き続き、**英語指導講師**ならびに**ALT**（外国語指導助手）を派遣して英語教育を実施いたします。**小学校**につきましても、英会話に親しむことはもちろん、簡単な英会話とリスニング能力を育成するため、引き続き、**英語指導講師**ならびに**ALT**を



中学生海外教育交流派遣事業でカナダへ

ど、海外での様々な交流事業に参加すること、**「国際的な視野と見識」**並びに積極的に物事に取り組む「**逞しく生きる力**」を身につけるため、**国際交流事業**を昨年引き続き実施いたしました。平成27年度につきましては、平成9年から平成13年まで実施しました**カナダでの国際交流事業**を再開いたしました。平成28年度につきましても**カナダ**での事業展開を予定しておりますが、昨年以上に充実した事業内容を検討いたします。**町営学習塾**につきましては、**中学生の希望者**を対象とし、基礎学力の向



現役大学生による町営学習塾



改修が完了した中央体育館と公民館